

行雲流水

No.327 令和5年7月27日発行

人生を豊かにする一冊との出会い

校長 寒河江 正人

生徒諸君、
この1学期、「**これは、いい！！**」と思える**本との出会い**ができましたか？

私は、今朝、**51冊目**を借りました。

1冊の本との出会いは、
感動や勇氣、夢や希望、人生の目標など、
その後の**人生を変える大きなきっかけ**になる場合もあります。

だから、「**これ、読んでみようかな。**」と思って、
手にとったその一冊の**ページをめくるときは、いつも、わくわく**します。

いつも**すごいなあ**と感心するのは、本校の図書室の常連の生徒の皆さんです。
多読賞の該当になる冊数なんか、はるかに超えて、100冊以上の人もいますよね。
すごいなあ。

数多くの本に触れているということは、
その数の多さに比例して、たくさんの感動や勇氣、夢や希望、人生の目標など、
新たな出会いの機会が増えているということが出来るのかもかもしれません。

その人の生活に**心地よい刺激と潤いを与えてくれる**ものです。
より豊かな人生になっているとも言えるでしょう。

数の多さを競う必要はありませんが、
全く本に触れていないという生活は、いささか豊かさに欠ける人生ではないでしょうか。

もうすぐ夏休み。
本校の図書室には、**あなたの来室を待っている魅力的な本**が、たくさんあります。
この夏、あなたが「**これは、いい！！**」と思える**本との出会い**ができますように、
心からお祈りしております。